

【新おおた教育ビジョン】三年目

基本方針1：持続可能な社会を創り
(個別目標 出すグローバル人材を
1・2・3) 育成する。

基本方針2：誰一人取り残さず、こ
(個別目標 どもの可能性を最大限
4・5・6) に引き出す。

基本方針3：すべての区民が未来を担
(個別目標 う子供を育て、ともに
7・8) 学び続ける。

【教育目標】

夢と希望をもって、未来を拓く生徒の育成を目指し、次の教育目標を設定し、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。

- 人権を尊重する生徒の育成
- 自ら学ぶ生徒の育成
- 心身ともに健全な生徒の育成

【生徒の実態・特質や保護者・地域の願い】
学校評価の詳細な分析と積極的な活用

目指す学校像

自信と笑顔があふれる学校
<達成感とやりがいのある学校>
生徒の声が聞こえる学校
<寄り添い、良さや可能性を引き出す学校>

目指す生徒像

自己肯定感を高め、力を十分に発揮できる生徒

目指す教師像

意欲的に学習する教育活動が展開できる教師

中期的な目標（最終年）

自ら考え判断できる力の育成と協働的な学びの実践

中期的な目標（最終年）

教育活動を適切に評価し、改善できる教員組織の構築

重点目標

結果より経過を重視した活動の充実を図る。
生徒の意見を教育活動に積極的に反映させる。

重点目標

学年担任制の積極的な取組により定着を図る。
協働的な学びを活かした、授業改善の推進を図る。

学校経営の基本方針

- ☆「風通しが良く、安心できる職場・学年・学級」を構築する。☆
 - 「任せる 認める 信じる」心理的安全性が保障される風土を確立する。
 - 「可能な限り、チャンスを与え、チャレンジさせる」教育活動を実践する。
- ～これからの学校・生徒・職員のために必要な組織開発を遂行する。～

具体的な方策

☆学習指導要領を拠り所とした教育活動を実践する☆

- 1 生徒が考え、判断できる。生徒（達）が自分で決められる、教育活動を実践する。＜個1＞
＜知識＋判断→行動＞がセットになる教育活動に実践
- 2 「生きる力」の育成を常に意識した教育活動の実施：主体的・対話的で深い学びを通した「確かな学力」や「社会性（規範意識）」を身につけるための共通スタンダードを確立する。＜個1＞
- 3 単元計画や評価計画を見直し、思考力・判断力・表現力育成を積極的に図るなど、年間を通して授業力向上を図る。＜個4＞
- 4 個別最適な学びや協働的な学びにつながる ICT の積極的な活用と教育環境の整備を推進する。＜個6＞
- 5 「特別の教科 道徳」を柱として、全教育活動を通した「心の教育」を推進する。＜個3＞
- 6 いじめに対して、いじめ防止対策委員会を中心とした組織的な対応を徹底する。また、些細なことでも情報を共有し、全教職員で見守る体制をつくることで未然防止につなげる。＜個5＞
- 7 不登校（傾向）生徒減少につながる学習支援や安心できる居場所（校内教育支援センター 名称「ロータスルーム」）を全職員で機能させる。＜個5＞
- 8 特別支援教育について、校内研修などを通して理解を深め、積極的に実践する。また、校内支援体制の充実や関係諸機関との連携を強化し、一人一人に寄り添ったきめ細かい教育活動を推進する。＜個5＞ ＜QUの理解と組織的な活用＞
- 9 学年進行に応じたキャリア教育を実践し、主体的な自己実現ができる能力を育成する。また、地域人材を積極的に活用した新しい総合的な学習の時間「かけはし」の充実を図る。＜個1＞
- 10 徹底した教育活動の評価により、組織改善・授業改善・業務改善（「学校改善に向けた三改善」）を推進する。＜個4＞
- 11 職層に応じた役割を明確にした組織を構築する。また、OJTの年間計画を作成し、（主幹）主任教諭を中心とした組織的・計画的な人材育成を推進する。＜個4＞
- 12 コミュニティースクール（CS）設置初年度として、「地域とともにある学校」を目指すために課題を整理し、実施可能な取組を実践する。＜個7＞
- 13 教育公務員としてサービスを厳正するとともに積極的に自己研鑽を行い資質の向上を図る。「年間服務事故ゼロ継続」＜個4＞